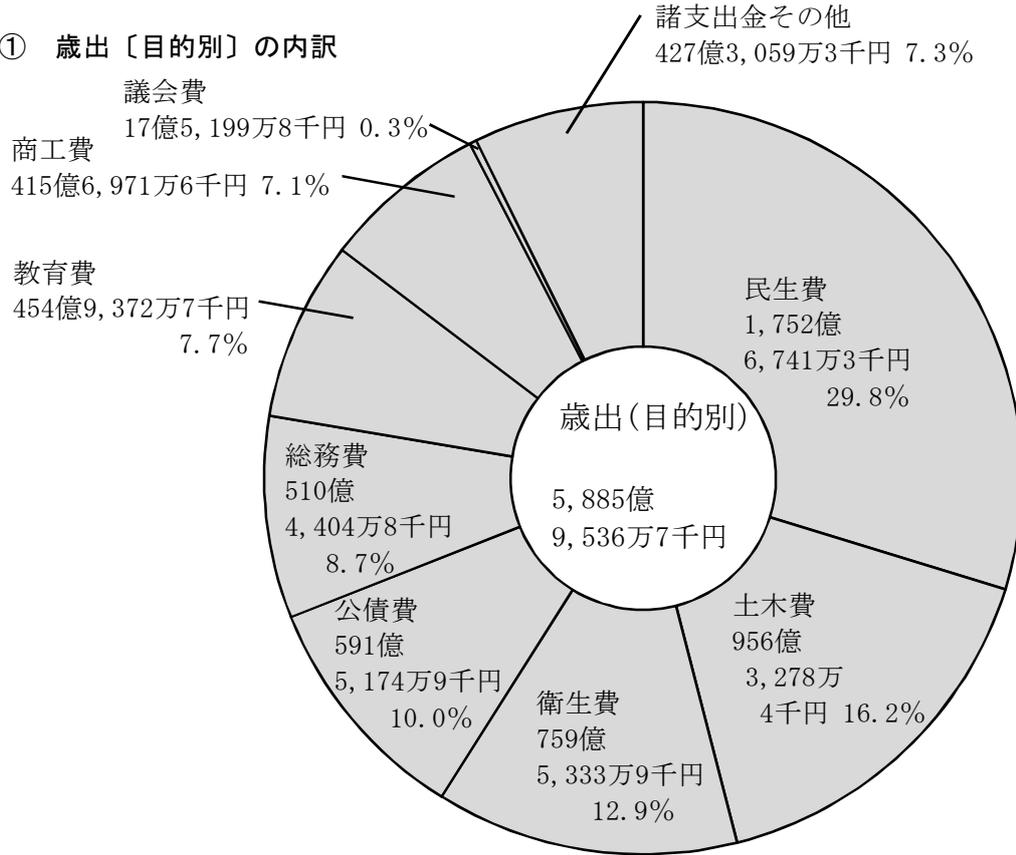
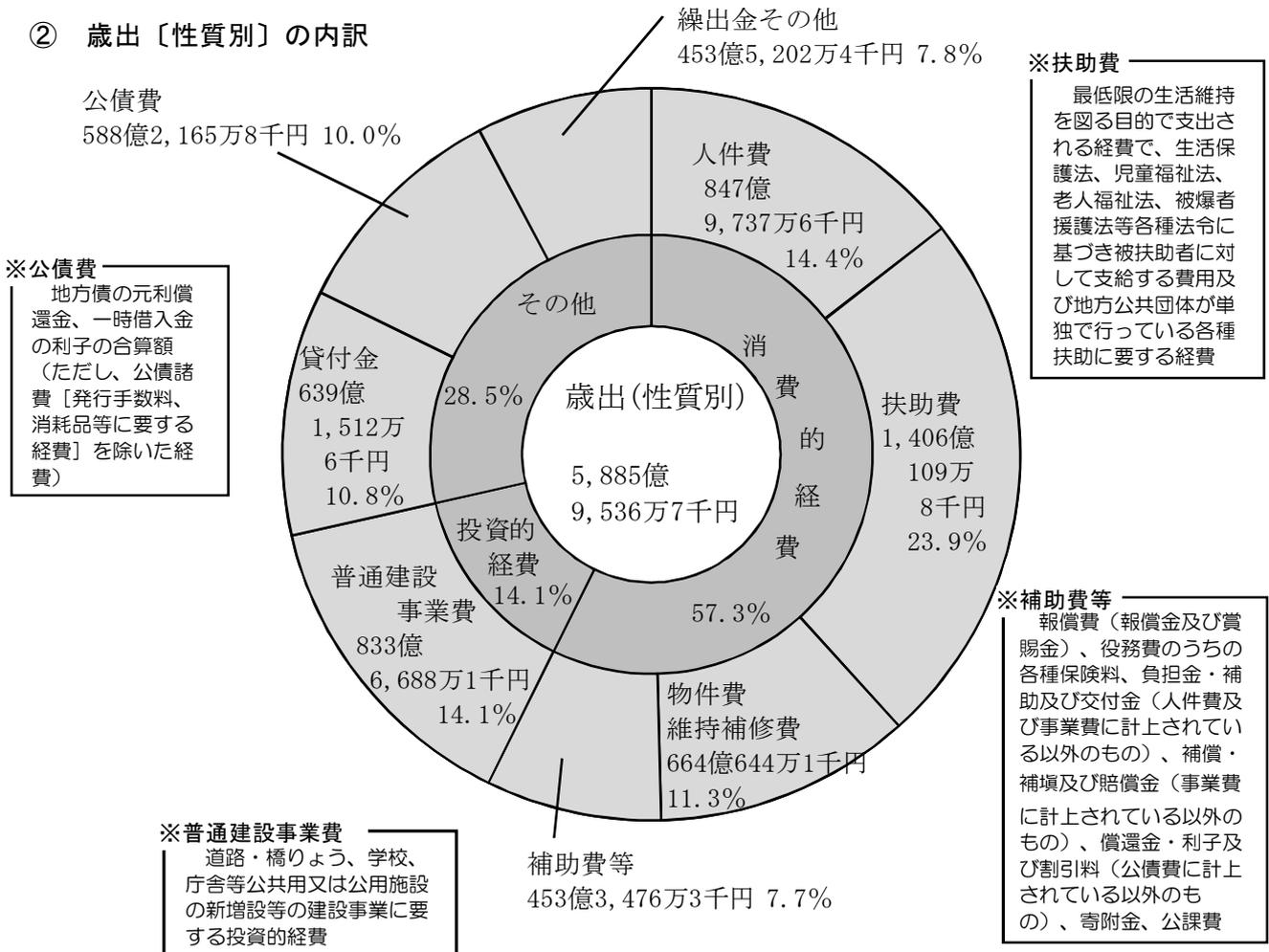


(4) 一般会計<歳出>

① 歳出〔目的別〕の内訳

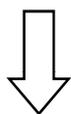
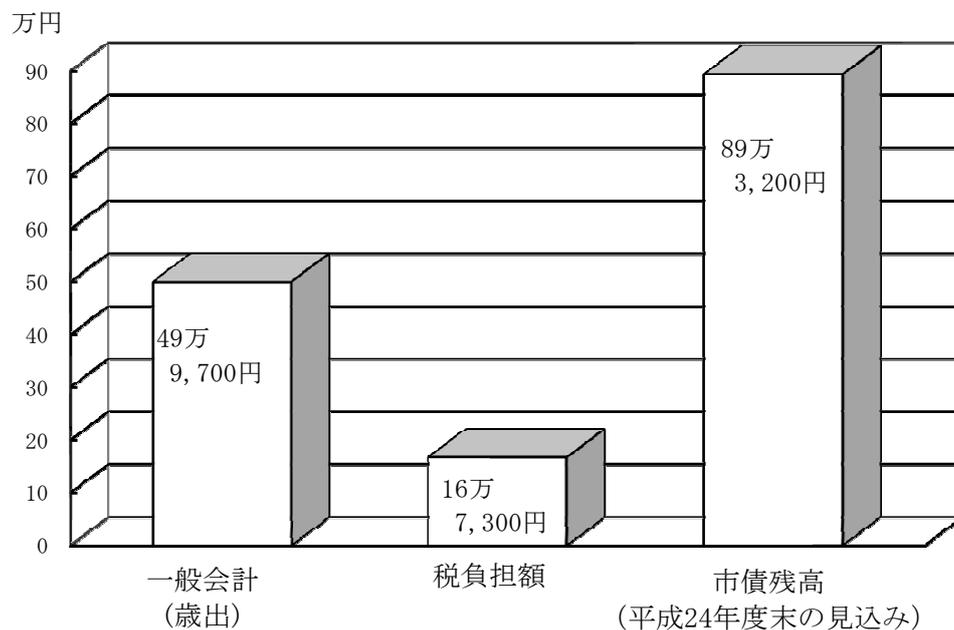


② 歳出〔性質別〕の内訳



2 市民一人当たりの金額

《人口：1,177,934人(外国人を含む。) 平成24年3月31日現在》



一般会計 (歳出) 《49万9,700円》の内訳	
☆民生費 (福祉の充実)	14万 8,800円
☆土木費 (道路・公園整備など)	8万 1,200円
☆衛生費 (保健の充実・ごみ処理など)	6万 4,500円
☆公債費 (借入金の返済)	5万 200円
☆総務費 (コミュニティの振興など)	4万 3,300円
☆教育費 (学校教育の充実)	3万 8,600円
☆商工・農林水産業費 (各種産業の振興)	3万 8,800円
☆議会費 (議会の運営)	1,500円
☆その他	3万 2,800円

3 主要事業の概要

(1) 「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現

ア 都市機能の充実強化

- ◎ 広島駅周辺地区の整備を推進するため、広島駅南口Bブロック及びCブロック市街地再開発組合に対する事業補助を行うとともに、二葉の里土地区画整理事業の施行者に対する事業補助を行います。また、広島駅の自由通路等の整備に引き続き取り組みます。
- ◎ 大規模未利用地活用方策の検討については、二葉の里地区や旧広島市民球場跡地、広島大学本部跡地、広島西飛行場のヘリポート化に伴う跡地について、中四国地方の雄として県や近隣市町からの期待に応えられるよう、将来をしっかりと見据えた活用方策を検討します。
- ◎ 公共交通ネットワークの形成については、新しい公共交通体系づくりの基本計画の策定に向け、西風新都の全体計画の見直しとの整合を図りながら、現行基本計画の施策の柱であるアストラムライン延伸計画の見直しなどの検討を行います。また、公共交通を中心とした都市内交通の円滑化を図るため、白島新駅の整備やJR可部線の輸送改善施設の工事費の負担を行うほか、路面電車の駅前大橋ルートを前提とした広島駅南口広場の基本設計を行うとともに、JR西広島駅周辺地区の交通結節点の整備に向けた測量等を行います。
- ◎ 自転車を活用するための環境整備については、自転車が都市内交通の一翼を担う乗り物としてその役割がますます重要になる中、今後のビジョンを明確にした上で、自転車施策を総合的に推進するため、「自転車都市づくり推進計画」の策定に向けた検討に取り組みます。

イ 産業の振興

- ◎ 中小企業の振興については、現下の厳しい経済情勢に対応するため、中小企業融資の融資枠を拡大するとともに、新成長産業である「エコビジネス」「観光ビジネス」「医療・福祉関連ビジネス」「都市型サービスビジネス」の振興を図るため、「新成長ビジネス育成資金」を創設します。
- ◎ 企業誘致については、新たな企業の誘致を一層推進するため、企業立地促進補助制度をより効果的で使いやすい制度に見直します。特に西風新都については、立地企業に対するインセンティブを一層強化することにより、開発や企業立地を促進します。
- ◎ 近隣市町との連携については、近隣市町とともに取り組む「まち起こし協議会」において、圏域の発展につながる施策の検討を行うとともに、リーディングプロジェクトとして、オープン型の神楽公演を開催し、本市と近隣市町との連携・交流を深めます。

ウ 観光の振興

- ◎ 広島を訪れる人が「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じるような清潔でごみのないまちづくりに向け、「ごみのないまちづくりアクションプラン」を策定します。
- ◎ 一年を通して市民や広島を訪れる観光客に四季折々の花を楽しんでもらうため、主要な公共施設へプランターを設置し、市民や企業等に維持管理を行ってもらう取組を実施するとともに、花壇づくりを行う地域団体間の交流・情報共有化による花壇づくりの促進を図ることなどにより、市民や企業等と市が協働して全学的に花のあるまちなみづくりに取り組みます。
- ◎ 市域全域を対象とした景観計画の策定を行うとともに、良好な景観の形成に向けた市民意識の醸成を図るため、景観に関するシンポジウムを開催するなど、景観行政の推進に取り組みます。
- ◎ 広島を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、民間事業者の協力を得て、郵便局、コンビニエンスストア等で、観光案内や観光パンフレットの配布などのサービスを提供する街角観光案内所を設置します。
- ◎ 新たな観光資源の発掘・観光メニューの提供については、平成25年春に本市で開催される全国菓子大博覧会を、広島県菓子工業組合、県、地元経済界等と連携して支援します。

(2) 「ワーク・ライフ・バランスのまち」の実現に向けた取組

ア 雇用の促進等

- ◎ 国の緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用して、「若者の就業体験事業」や「学校図書館活性化推進事業」などを実施し、離職者等に対する継続的な就業機会やつなぎの雇用機会の確保を図ります。
- ◎ 生活保護受給者に対するカウンセリングによる就労意欲の喚起や、求人先の開拓を行う体制の強化による就労の一層の促進を図ります。

イ 保健・医療の充実

- ◎ 疾病の予防については、高齢者の肺炎球菌による感染症予防のため、高齢者が肺炎球菌ワクチンを接種した場合の費用の一部助成を新たに行います。また、子宮頸がんワクチンを中学校1年生から高校1年生の女子を対象に、また、小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを生後2か月から4歳の乳幼児を対象に、いずれも無料で接種します。
- ◎ 地域医療体制の充実については、病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応し、質の高い安全で安心な医療を安定的に提供していくため、市立病院の経営改善方策を検討します。

ウ 福祉の充実

- ◎ 現在の社会福祉センターの機能を拡充・強化した総合福祉センターを広島駅南口Bブロックの再開発ビル内に整備することとし、必要な機能等の検討を進め、整備内容の取りまとめを行います。
- ◎ 高齢者福祉の充実については、「広島市高齢者施策推進プラン」に基づき、要介護状態にある高齢者に対する適切な介護サービスを提供するとともに、介護予防対策を推進します。また、特別養護老人ホームについては、平成26年度までに新たに定員総数530人分の整備を進めます。さらに、高齢者配食サービスやひとり暮らし高齢者あんしん電話設置を拡充実施するとともに、認知症コールセンターを新たに設置します。
- ◎ 障害者福祉の充実については、施設サービスの充実を図るため、民間の障害福祉サービス事業所の整備に対する補助を行います。また、障害者自立支援法等に基づき、自立支援給付や地域生活支援事業、障害児支援給付を実施するとともに、障害者虐待防止センターを新たに設置するなど、障害者虐待の防止に向けた取り組みを推進します。
- ◎ 原爆被爆者援護施策の充実については、高齢化が進んでいる被爆者に対して、健康管理手当など諸手当の支給や健康診断を行うとともに、介護老人福祉施設の入所や通所介護の利用料等を助成します。また、原爆被爆実態調査研究として、原爆による放射性降下物の実態解明に引き続き取り組みます。

エ 未来を担う子どもの育成

- ◎ 保育サービスの充実については、待機児童ゼロを目指し、引き続き民間保育園の新設に対する補助等を行い、児童の受け入れ枠の拡大を図ります。
- ◎ 子育て家庭に対する支援の充実については、常設型のオープンスペースを自主的に運営する社会福祉法人等に対して、新たに補助を行います。
- ◎ 家庭・地域社会・学校の連携強化としては、学校と家庭・地域が連携し「まちぐるみ」による教育の充実・強化を図るため、「まちぐるみ『教育の絆』プロジェクト」を新たに実施します。

オ スポーツ・文化芸術の振興

- ◎ スポーツの振興については、「天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝大会」等の開催を支援するほか、ジュニア選手を指導する指導者同士の交流促進や情報の共有化を図るため、シンポジウムを開催します。
- ◎ 文化芸術の振興については、アニメーション文化の一層の推進を図るため、「第14回広島国際アニメーションフェスティバル」の開催補助を行うとともに、市民が主体的にかかわるアニメーションフェスティバル前夜祭などを新たに行います。また、「ひろしまピースプロジェクト」推進事業として、平成25年夏に開催されるコンサートのプレイベントの開催等を支援します。

カ 安全・安心に暮らせる生活環境の整備

- ◎ 地域コミュニティの活性化については、区役所が住民との対話等を踏まえ、企画・立案力を十分に発揮し、地域の魅力向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動を効果的に支援するため、新たに、「区の魅力と活力の向上推進事業」を展開します。
- ◎ 災害に強く安心して生活できるまちづくりについては、東日本大震災を踏まえ、地震の被害想定及び地域防災計画の見直し等に取り組みます。また、災害時の防災拠点となる区役所庁舎や消防庁舎等の耐震化に引き続き取り組みます。特に、学校校舎等の耐震補強工事については、倒壊の危険性が高いI s値0.3未満のすべての校舎に平成24年度末までに着手するとともに、計画の完了予定を平成30年度から平成27年度に前倒しして実施します。

キ 男女共同参画社会の形成

- ◎ 男女共同参画に積極的に取り組んでいる民間事業所の顕彰や情報誌の発行など男女共同参画について普及啓発を図るとともに、男性の家庭生活や地域活動等への参画についての意識啓発を図るため、ワークショップ等を開催します。

(3) 「平和への思いを共有するまち」の実現に向けた取組

ア 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現

- ◎ 2020年までの核兵器廃絶を目指した取組を推進するため、国内外の5,000を超える都市が加盟する平和市長会議を中心に、2020ビジョンキャンペーンの積極的な展開を図ります。具体的には、本年5月にウィーンで開催されるNPT再検討会議第1回準備委員会に出席し、2020年までの核兵器廃絶の必要性を訴えるほか、10月に平和市長会議の国内加盟都市の会議を長崎市で開催するなど、核兵器廃絶に向けた世論の喚起を図ります。

イ 「迎える平和」の推進

- ◎ 平和への思いを共有してもらうための取組として、NPT再検討会議など各国の為政者たちが広島の地集い、核兵器廃絶に向けた議論をするための国際会議の開催を目指します。
- ◎ 広島が被爆者の体験や平和への思いを次世代に確実に伝えていくことができる「まち」となるよう、被爆体験伝承者の養成や平和記念資料館の再整備事業を推進するほか、国内外から寄せられる折り鶴に託された平和への思いを昇華させるための取組を実施します。
- ◎ 世界遺産である原爆ドームを保存していくため、耐震対策の工法案の作成などを行うほか、「国際平和拠点ひろしま構想」を推進する事業を県と連携して実施します。このほか、ボルゴグラード市との姉妹都市提携40周年にあたり、代表団の派遣・受入を行うなど、姉妹・友好都市との交流を中心に国際交流・国際協力を推進します。



広島駅南口Bブロック



第1回まち起こし協議会



全国菓子大博覧会の開催支援